

つながりの中で育つ御野っ子



野菜名人さんに報告、「ほら、こんなのがとれたよ。」

今日で2学期が終わりました。開催が心配された大きな学校行事も、形を変えいろいろな工夫をしながら、その多くを実施することができました。できないことを数えるのではなく、できることを見つけながらの手探りの日々でした。どうしたら御野小のみんなの笑顔が輝くのか、試行錯誤の中で見えたものはやはり人と人とのつながりの大切さでした。

2年生は生活科の学習で野菜を育てました。10月に植えた冬野菜もすっかり大きくなり、12/17(木)に収穫をしました。大根、人参、かぶ、どれもよく育ってとてもおいしそうです。地域の「野菜名人さん」たちが種まきから収穫までずっと手伝ってくださいました。例年のように名人さんと一緒に大根を抜いたり、おいしい「みのっこ汁」を作っていたりすることはできませんでしたが、コロナ対策をしっかりとりながら、名人さんたちから収穫の仕方を教えていただきました。畑の土からよいしょと野菜を抜き、とれたものを見せ合ううちに、子どもたちの目はきらきらと輝きました。「ほら見て、こんなのとれた。」「大きいよ、すごいね。」学級園に笑顔があふれます。担任とは違う大人の人から技を教えてください。経験は、教室の授業だけでは得られない多くの学びを与えてくれます。こうして御野っ子たちは地域の皆様のあたたかいお気持ちに支えられて育っているのだということを改めて実感した一日でした。



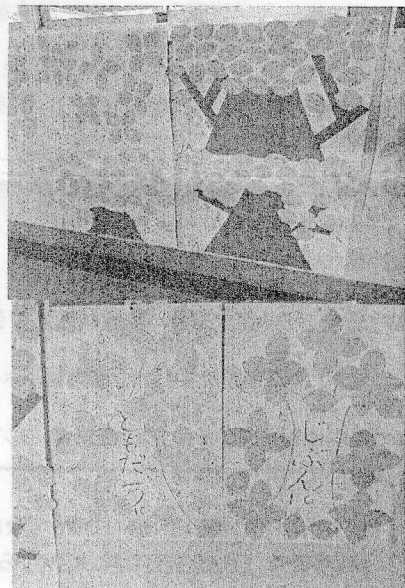
名人さんが葉の部分を手際よく切り落として

人との距離をとることが重要な今の状況だからこそ、子どもたちの成長には、「心がつながっていること」が何より大切なのだと思います。今後も、子どもたちがつながりの中で自分の育ちを実感できるような教育活動に力を注いでいきたいと考えています。保護者の皆様、地域の皆様、今年も大変お世話になりました。どうぞよいお年をお迎えください。来る年もよろしく願いいたします。

やさしさの花が咲いたよ!



前号でお伝えした校内人権週間の取組として、「やさしさの花」を低学年の子どもたちが作りました。友達の良いところだけでなく、自分の良いところにも目を向けて、花びらの色を変えて掲示しました。「そうじをもくもくとがんばっているよ。」「えがおでがっこうにくることができるよ。」「自分の良さというのはなかなか言葉にしにくいものですが、自分ができていることにきちんと目を向けられるというのはとても大切なことです。それぞれに一生懸命考えて書いていました。中・高学年は人権を大切にすることを呼びかける標語づくりに取り組みました。「思いやりプラス言葉でふやそうよ」「ちがいや差 みとめあえたら いじめゼロ」「段差を無くしてバリアフリー 壁を無くしてフレンドリー」学年代表に選ばれた作品は校内放送でも紹介されました。互いの存在を大切にすることについて、全校でしっかり考えた人権週間でした。



自分や友達の良いところ、廊下にやさしさの花が咲きました!